

**港北区箕輪町二丁目で、
環境未来都市にふさわしい持続可能な魅力あるまちづくりを推進します。**

■ 趣 旨

日吉・綱島地区では、新たな産業の進出や工業地からマンションなどの住宅地への転換が進んでいます。このような都市環境の変化を捉えて、持続可能な魅力あるまちづくりを進める必要があります。

野村不動産株式会社（取締役社長：宮嶋 誠一、以下野村不動産）は、港北区箕輪町二丁目街区において「自然・人と「街」が融合するスマートインフラを整備し、多機能かつ高い利便性を有する複合型のまちづくり『都市型コンパクトタウン』を推進」します。

横浜市は、環境未来都市にふさわしい持続可能な魅力あるまちづくりを進めるため、この開発計画の取組みを支援すると共に、地区計画制度を活用しつつ地域のまちづくりに寄与するよう適切に誘導していきます。また、野村不動産と小学校用地の確保について協議を進めていきます。

■ 開発計画の概要

野村不動産はMID都市開発と共同で、住宅を核とし商業施設などの生活利便施設等が一体となった大規模複合開発を行います。多機能かつ高利便性を有する『都市型コンパクトタウン』を創生することで、日吉・綱島地区の発展に寄与します。

具体的には、下記の「スマート・コミュニティインフラ」と「スマート・グリーンインフラ」の2つのインフラ整備を基本とし、新たなまちづくりに取り組みます。

【スマート・コミュニティインフラ】

本開発の周辺においては、既に豊かなコミュニティが形成されています。本開発において、周辺地域と連携した防災広場の活用やデジタルサイネージを活用した災害情報の提供など、ICT を用いた「自助・共助」ができる自立型コミュニティの創出を行う【スマート・コミュニティインフラ】の整備を行うことで、そこに「住もう人」のみならず、「集う人」「地域の人」とも連携し、自分らしく健康に暮らすことのできるまちづくりを目指します。

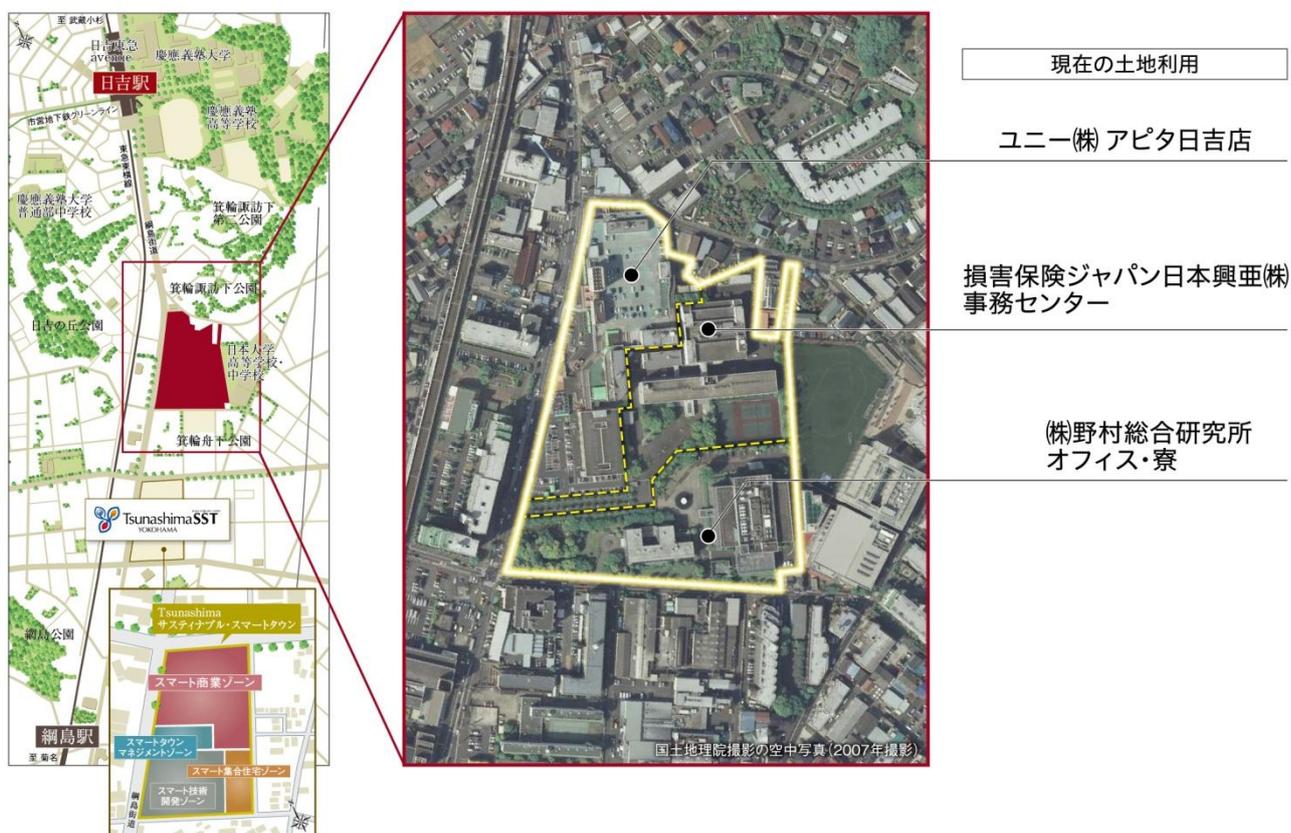
【スマート・グリーンインフラ】

本開発周辺は、潤い豊かな河川や丘陵等の自然環境が残されており、本開発エリア内においても、従前所有者より受け継いできた既存樹があります。これらは未来へ引き継ぐべき「街の原風景」といえます。本開発においては、美しい景観、自然との触れあい、空気・水をきれいにする、安心・安全など、「みどり」の複合的効果をもたらすグリーンインフラの整備のため、既存樹を活用した生物多様性に配慮した森林広場等クールスポットを創出します。また、再生可能エネルギーの利用やエネルギーマネジメントなど、創エネ、蓄エネ、省エネを組み合わせるとともに、開発エリアでの環境配慮やエネルギーに関する全体目標を設定し、それを実現するためのガイドラインを策定することで、【スマート・グリーンインフラ】の整備を目指します。

この2つのスマートインフラ整備を行い、「自然・人と「街」が融合したまちづくりを推進し、まちに関わる人々のQOL (Quality Of Life) が高いまちの創出を目指すだけでなく、未来に自然の恵みを残しながら、地域コミュニティが醸成された豊かなまちを承継していきたいと考えております。

今後、野村不動産とMID都市開発は、横浜市の協力のもと、Tsunashima SSTを含めた広域の開発を進めていき、今後さまざまな企業、学校、地域などとパートナーシップを構築しながら、次世代のまちづくりをリードする都市型コンパクトタウンを目指します。

【位置図】



環境未来都市とは…

環境問題や超高齢化への対応などの様々な社会的課題に総合的に取り組んで活力ある都市をつくる、国家的なプロジェクトのひとつです。横浜市は、平成23年12月、国から「環境未来都市」に選定されました。

<URL> <http://www.city.yokohama.lg.jp/ondan/futurecity/>

お問合せ先
野村不動産株式会社 広報部 半田・阿部・相澤 Tel 03-3348-7805 都市整備局地域まちづくり課 担当課長 竹下 雄治 Tel 045-671-2665